

霞ヶ浦流域治水プロジェクト【位置図（案）】

～地方都市の生活を守る流域治水の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、利根川水系霞ヶ浦においては、高波浪の影響で堤防侵食被害が随所に見られるなど、十分な安全性が確保できていない状況であり、国管理区間においては、堤防整備と波浪対策を実施して行く。また、支川等からの流入により、霞ヶ浦の水位が上昇するため、流域全体の対策を進めて安全性を確保する必要がある。

霞ヶ浦沿岸の多くは低平地であり、堤防が決壊した場合、支川からの排水が困難で浸水被害が長期に渡る為、流域内の降雨を貯留または浸透させる対策を行いつつ、流入河川の河道掘削や堤防整備等のハード対策を進めることにより、流出抑制を図る。さらに災害リスクの低い土地利用を含め、住民の具体的な避難行動の仕組みづくりと避難体制等の強化を促進して、防災意識向上の為の取り組みを実施する。

これらの取り組みを実施していくことで、戦後最大の平成3年10月洪水と同規模の洪水に対し、霞ヶ浦流域一体となった協働による対策を進める。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※上図には危機管理対策等は含まれていない。

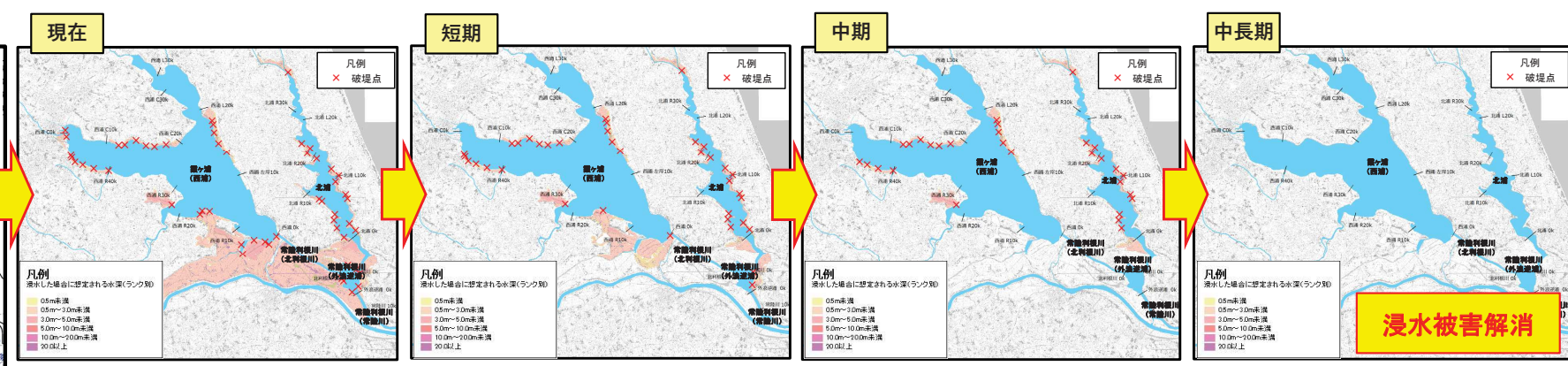
霞ヶ浦流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果（案）】

～地方都市の生活を守る流域治水の推進～

- 霞ヶ浦沿岸の多くは低平地であり、堤防が決壊した場合、支川からの排水が困難で浸水被害が長期に渡る為、流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期・中期】霞ヶ浦流域の洪水氾濫対策（霞ヶ浦堤防整備・波浪対策、流入河川堤防整備・河道掘削・調節池整備）、内水氾濫対策（施設の耐水化の整備、排水施設の整備）、土砂災害対策（砂防関係施設の整備）流域の雨水貯留機能の向上（治山事業、森林整備、雨水貯留施設の整備）における氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫（立地適正化計画の制定、まちづくりと一体となった土砂災害対策の推進）における被害対象を減少させるための対策、避難体制等の強化（広域避難計画の策定、タイムラインの策定、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、危機管理型水位計・監視カメラの整備）、土地の水災害リスク情報の充実（水害リスク空白域の解消）における被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を実施。
 - 【中長期】霞ヶ浦の浸水被害を解消するため、波浪対策による堤防強化、流入河川の堤防整備等を行うとともに、災害リスクの低い土地利用を踏まえた立地適正化計画・土砂災害対策等の事業制定の促進および住民の具体的な避難行動の仕組みづくりと避難体制等の強化、地域の防災力の向上を目指し、流域全体の安全向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策 (霞ヶ浦の堤防整備・波浪対策、流入河川の堤防整備・河道掘削・調節池整備)	霞ヶ浦河川事務所 茨城県		施設の耐水化完了	
	内水氾濫対策 (施設の耐水化の整備、排水施設の整備)	土浦市等			排水施設の整備完了
	土砂災害対策 (砂防関係施設の整備)	茨城県			
	流域の雨水貯留機能の向上 (治山事業、森林整備、雨水貯留施設の整備)	茨城県、土浦市等	立地適正化計画の制定(石岡市、阿見町)		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 (立地適正化計画の制定、まちづくりと一体となった土砂災害対策の推進)	茨城県 石岡市等		タイムラインの策定(沿川市町村)	
	避難体制等の強化 (広域避難計画の策定、タイムラインの策定、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)	霞ヶ浦河川事務所 茨城県 千葉県 潮来市等		広域避難計画の策定(潮来市、稲敷市、神栖市、香取市、龍ヶ崎市)	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化 (危機管理型水位計・監視カメラの整備)	霞ヶ浦河川事務所 茨城県			危機管理型水位計・監視カメラの整備(霞ヶ浦河川事務所)
	土地の水災害リスク情報の充実 (水害リスク空白域の解消)	茨城県 千葉県			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進



浸水被害解消